

【北海道通信に掲載されました】

# 北海道通信

## 文化学んだ成果を発表

羽幌高が韓国短期留学報告会

【函館発】羽幌高校（宮下格加校長）は一月下旬、同校で韓国短期留学報告会を開いた。全校生徒のほか、羽幌町長や教育長ら来賓、地域住民も出席。韓国・素明女子高校との相互訪問交遊に参加した生徒八人が、韓国での暮らしや文化などに関する学びの成果を発表した。

羽幌町では、学校間の相互交遊やホームステイ、地域交流などを通して生活文化を体験することで、まちづくりに寄与する広い視野



と知識をもった人材の育成を目的に、羽幌国際交流協会が設立。同協会設立と羽幌高創立五十周年事業の一

環として、十一年度から韓国・素明女子高校との国際交遊が始まった。

国際的な事情により中止となった年度があるものの、開始から二十年間継続して訪韓、来町を隔年で実施。本年度は昨年八月二十

八日から七日間の日程で、羽幌高の一、三年生八人が韓国を訪れた。

報告会では、素明女子高校での体験や授業、ホームステイなどを通して学んだ

写真を変えながら現地での様子を説明した

韓国の歴史や日本とは異なる文化、伝統などについてプレゼンテーションした。全校生徒のほか、訪れた来賓や地域住民らに現地で学んだ成果を伝えた。

宮下校長は、国際交流事業について「世界に目を向け、世界とのつながりの中で自分を成長させることが大切」と述べ、今回の経験が全校生徒で共有する重要性を説明。

留学生を代表し、あいさつに立った三年生の佐藤未結さんは「このような機会をつくっていただけた多くの皆さんに感謝し、留学の経験を生かしていきたい」と力強く述べた。

1月30日（水）、本校体育館にて韓国短期留学報告会を行い、留学した8名の生徒が留学中に学んだことや感じたことを全校生徒、町民の皆様へ報告しました。